

西光寺だより

第六十九号 平成二八年 五月一日発行

平成二十八年熊本地震により被災された方々に

心からお見舞い申し上げます。

四月十四日夜に発生し、今も熊本県を中心に地震が相次ぎ被害の拡大をしている「平成二十八年熊本地震」。宗門内の寺院、門信徒も大きな被害を受け、熊本教区の門信徒十三人が亡くなられました。建物の被害は、熊本・大分など各教区三二〇カ寺に上り、熊本教区では六カ寺の本堂が全壊しました。甚大な被害を受けた門信徒・寺族は現在も避難生活を強いられています。

一日も早い安定の日が来ることを願います。

合 掌

●今月のことば●

今月号からインド・中国・日本の七人の高僧による、本願の念仏についての解釈が示されている「依釈段」についてみていきたいと思います。その前になぜ親鸞聖人は数多くおられる高僧の中からこの七人を選ばれたのでしょうか。それはこの方々が自ら阿弥陀仏の本願念仏を喜び、往生を願い、著述があり、独自の説明を加えられた方ということで選ばれたそうです。そして今回はその中の一人インドの龍樹菩薩のついてみていきたいと思います。

印度西天之論家・インドに出られた論家（龍樹・天親菩薩）がた

中夏日域之高僧・中国・日本の高僧（曇鸞・道綽・善導・源信・源空）が

たは

顕大聖興世正意・お釈迦様（大聖）がこの世に出られた本意（正意）をあ

らわし

明如来本誓応機・阿弥陀如来の本願（本誓）は末世の私のためのものだと

明らかにされた

釈迦如来楞伽山・お釈迦様は、インドの楞伽山において
為衆告命南天竺・多くのの人々のために告げられた。それは南インド（南天

竺）に

龍樹大士出於世・龍樹菩薩というおかたが世にでられて
悉能摧破有無見・「有無の見」ことごとく、うちやぶり

宣説大乘無上法・大乘のこのうえもない教え（法）を説きのべ

証歎喜地生安樂・歎喜地をさとり、安樂（浄土）に往生するだろう、と

顯示難行陸路苦・難行の陸地を進むのは苦しいとあらわされた龍樹菩薩は

信樂易行水道樂・易行の船の旅（易行の水道＝信心）の楽しきことをすす

められ

憶念弥陀本願・阿弥陀仏の本願（第十八願）を信ずれば

自然即時入必定・信心をいたたくと同時に、必ず仏になることが決定した

位に入る

唯能常称如来号・だから、ただよく常に阿弥陀如来の名号を称えて

応報大悲弘誓恩・すべての人々を救って下さる大悲の恩を報ぜよとのべら

れた

（法蔵館正信偈もの知り帳・レッツ正信偈参考）

【解説】

●「有無の見」 「有の見」は、もの実在に固執する見解。「無の見」は、
虚無にこだわる見解。龍樹菩薩は、「有見」「無見」の両方の考えを除いて、
事実をそのままに受けとめることが大切であると教えておられます。

●大乗 「大きな乗り物」という意味。すべての人々を迷いの世界から悟りの
世界に運ぶという意味で、大きな乗り物にたとえられています。この大乗仏
教の代表的な僧が龍樹菩薩・天親菩薩（後にでてきます）であります。

●歎喜地 必ず成仏するという位に至るので、歡喜が生ずるので歎喜地という。

●難行易行 龍樹菩薩は、仏道を難行道（自力修行でさとりをえる道）と易行

道（阿弥陀如来の本願力によって救われる道）とに分けるといふ「難易二道」を説かれました。陸の道を重い荷物を持って旅するのは難しい道を難行道、水上を船に乗って行く旅は重い荷物があっても快適な道である易行道と例えられ、易行道を勧められた。

◆先月の報告◆

①四月三日（日）春季永代経法要を厳修致しました。午後二時から西光寺講の追弔会を行い、皆さんで阿弥陀経のお勤めをさせていただきましたながら亡き故人を偲びお焼香をいたしました。引き続き春季永代経法要。午後七時からは皆さんで正信偈行譜六首引のお勤めをさせていただきました、およそ五〇名のご門徒の方々と共に先人を偲ぶ大切な法要を厳修いたしました。

また布教師の方は同じ茨木東組のお寺である専念寺の新発意（副住職）の高島幸博師に来ていただき、御法話を皆さんと一緒に聴聞致しました。まだ布教使になられて日が浅いとおっしゃっておられました。楽しく分かりやすいお話を聞かせていただきました。ありがとうございました。



②四月二十三日（土）西光寺本堂にて平成二十八年度西光寺講総会を行いました。総代・役員・多くの皆さんにお集まりいただきました。

平成二十七年会計報告、平成二十八年西光寺行事予定をさせていただきました。最後に重要な案件について協議致しました。

昨年六月にご門主（本願寺の住職）が変わられた事に際し『伝灯奉告法要』が平成二十八年十月から執り行われる事となり、全国のお寺にご懇志の依頼が本願寺よりございました。この懇志についての大事な案件でございました。総代会・役員会で話し合い、そしてお集まりになられた講師の方々の了承を得て、この懇志を西光寺講の皆様お一人お一人にご負担いただくようお願いさせていただきます。この場をおかりしましてご報告させていただきます。

各一軒に『お願い』の紙を配布させて頂き、**六月中旬**に各垣内の役員が集めにかかっていますのでよろしくお願い致します。お一人お一人にはご負担をおかけいたしますが、この一期一会のご勝縁を大切に受けとめていただき御理解下さいますこと、どうぞよろしくお願い申し上げます。

③今年の六月八日（火）から九日（水）、茨木東組聖跡巡拝バスツアーが行われます。これは茨木東にある十八カ寺のお寺の団体が、各お寺と御門徒の皆様で行く一泊二日のバス旅行であります。

今年には神戸・淡路島を訪ねます。本願寺神戸別院、メリケンパークオリエンタルホテルでのランチバイキング、薫寿堂にてお香作り、洲本温泉ホテルニューアワジにて宿泊、淡路ファームパークで昼食・散策など盛りだくさんの内容で皆様と過ごしたいと思っております。

参加費は**三万円**、締切は**五月二十五日（水）**・西光寺までご連絡下さい。皆様お誘い合わせ頂き、ご参加くださいますよう宜しくお願い致します。

合掌

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七一一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>